

# びふか 議会 です

## こんにちは。

2011年10月号

発行/北海道美深町議会 編集/議会広報委員会  
〒098-2252 北海道中川郡美深町西町18番地 TEL01656-2-1651  
印刷/有美深印刷



### 美深バイパストンネル工事

第3回定例会 ..... 2 ~ 3

4議員が登壇 一般質問 ..... 4 ~ 7

全会計認定 決算審査 ..... 8 ~ 11

11月8日 議会懇談会 ..... 16

# 第79号

## 第3回定例会 9月12日～16日

# 増改築に補助金

## 申請増で追加補正

**水道事業会計補正  
予算**

消費税納付額が20万円減額。美深道路水道管移設工事に450万円追加。

**国の地方税改正に伴い税条例を改正**

町税の不申告に対する過料の引き上げ、特例控除の延長など一部を改正する。

**国民健康保険特別  
会計補正予算**

療養給付費確定に伴い320万円追加し、総額7億8700万円とする。  
(全員賛成)

**下水道事業特別  
会計補正予算**

備品購入7万円など8万9千円を追加し、総額2億2668万9千円とする。  
(全員賛成)

**質問** 水道料金の改定など、今後の見通しは。

**産業施設課長** 今は問題ない。今後の施設改修、導水管等の整備に備え積み立てをしていく。  
(全員賛成)

**質問** 不申告に関する過料が3万円から10万円に引き上げられるが、町民への影響は。

**税務グループ主幹** これまで、町内での該当の例は発生していない。

快適住まいづくり

申請増による商工業振興補助金527万円、六郷4号道路整備事業に500万円、消防創立100周年記念式典48万円など2389万円を追加し、総額44億983万9千円とする。

**質問** 教育費の補正では、中学校整備にかかわるものか。

**教育次長** 中学校改築の委員会と、給食にかかわるアンケートにかかる経費になる。アンケートは町内全世帯を対象に行いたい。(全員賛成)

**介護保険特別会計  
補正予算**

介護給付費負担金等返還に伴い965万3千円を追加、総額4億6105万3千円とする。  
(全員賛成)



改築が進む店舗

**質問** 肉用牛の売却にかかわる町民税の課税の特例(年2000頭を1500頭に引き下げる期限を27年度まで延長)で、影響を受ける事業者はいるのか。

**税務グループ主幹** 1件該当者がいる。  
(全員賛成)



ドイツ製圧雪車

## 災害弔慰金の支給 順位の改正

死亡者にかかわる配偶者、子、父母、孫、または祖父母のいずれもが存しない場合、兄弟姉妹がいるときは、その兄弟姉妹（死亡した者と同居し、または生計

を共にしていた者）に対して支給する。質問 改正の経緯は。

保健福祉グループ主幹 東日本大震災を教訓に改正。本町においては過去、該当する災害例は発生していない。  
（全員賛成）

## 圧雪車購入 快適ゲレンデに

導入後20年以上経過したスキー場の圧雪車を更新。

質問 修繕での対応できないのか。

教育グループ主幹 修繕費もかさみ、部品調達にも支

障が出てきている。

質問 外国製の根拠と、廃車の処理は。

教育グループ主幹 馬力、燃費、作業性を考慮し、道内の普及率も高く部品の調達も有利なドイツ製にした。廃車の下取価格は30万円。  
（賛成多数）

## 充実をめざして

名寄市及び士別市と美深町との間に、複眼型定住自立圏形成協定を締結する。

質問 協定締結により、医療体制の充実と厚生病院とのかわりは。

民生生活課長 これまでの連携を維持しつつ、名寄市立総合病院を中核として地域医療を守り、今後医師派遣など具体的な方向を協議していく。

質問 中心市へ一極集中が進むのではないか。

## 滞納整理機構へ加入

地方税の滞納事案に関する事務の共同処理で税込アップを目指す。

質問 滞納の現状に対する町の取組みは。

滞納整理対策本部を設け、戸別訪問・

企画グループ主幹 美深町のまちづくりを進めるうえで、この地域が残ることを前提にお互い協力し、住みやすいまちづくりを目指す。  
（全員賛成）

電話相談等を行い、訪問徴収・催告などを行っている。

質問 加盟による負担金が生ずるが成果は期待できるのか。

滞納整理機構に加入することに対する予告効果も見込まれ、また納税に対する意識改革も出て一定の成果があると考えられる。納税者の公平性を確保するということもあり、機構に加入して滞納の解消を図っていき

たい。  
（賛成多数）



美深町教育委員会委員

水本 守氏の任命に同意した。

# 一般質問



小口英治 議員

## 1 医療対策について

問

医療費が道内10位、高位置をどう改善する

答

早期予防・発見・治療の充実で医療費を抑える

質問 国が定めた特定検診の受診率が平成24年度65%の最終目標で保健センターで取り組んでいる。22年度実績で、計画では54%実績52・5%の状況である。後期高齢者医療制度への財政負担が保健組合や自治体に対し最大10%が増減する中で目標を達成出来るのか。救急出動の実態からも、50代から高齢になるにつれ脳疾患、心疾患、消化器等での搬送が多くなる。

が、我が町の見守り体制はどのようになっているのか。また、設置された防災電話はどのように有効に利用されているのか。



命のカプセル

り組むと共に、健康に対する意識調査や地域の中での生活予防の情報提供・健康教室を開催する中で医療費等抑制する防災電話もあるので連携を整え一層努力する。

質問 20年度から厚生病院の外来患者数

が減少している事と、従来の運営赤字分の他、医療機器等にも補助金が支出され町財政に与える影響も大変心配だ。

医療を要する傾向。地域医療を守る事と特別交付税で補填されている点を理解されたい。



地域に喜ばれている診療所

町長 厚生病院も努力頂いているが、医師の常駐体制の問題も一つ、わが町の医療費が高い原因の一つに重症になってから病院に行く人が多いのかと思う。

統計的な数字では、入院日数全道平均17日、当町は19日で、これは高血圧・糖尿病・精神疾患等長期

質問 恩根内診療所の利用が21・22年度の平均利用が5人で、交付税補填だが年間408万円の支出ながら送迎の車での運営の方が効率的ではないか。

町長 人の命は効率化だけでは、判断すべきでない、なによりも、地域の医療体制を守る事が大事。

# 一般質問



諸岡 勇 議員

- 1 障害者支援の充実の目的で主要な施策がなされているが充分か
- 2 森林整備と林産業の振興策を伺う



地域と共に歩む のぞみ学園

問

安心して暮らせる福祉支援は

答 生活地域支援を充実する

質問 障害者福祉計画の取組のなか在宅サービスの強化策の具体策は。  
安心して生活ができるよう社会福祉協議会など他機関との連携の経過は。

障害者手帳の交付が身体272名、知的57名、精神18名あるが、社会参加の促進や支援活動などの進めは。

自立した生活を支援するなかスポーツ・文化活動・まちづくり活動の参画など、推進の体制は。  
知的障害者に福祉授産施設などの充実の考えは。

町長 障害者支援は、第2期美深町障害者福祉計画を策定し福祉サービスや相談支援を行なっている。この計画は、今年が契約期限で内容の見直しを図り24年から26年まで障害者施設

など基本的な方向性を定める。  
在宅サービスは、

19・20年のぞみ学園の地域移行に伴うグループ・ケアホームの建設補助で支援した。

共同生活のグループは、9棟51名で暮らしている。

自立支援法の事業として、ホームヘルプサービス、ショートステイ、デイサービス事業や町単独で地域生活支援事業を実施している。

法改正で住民税の非課税者は、負担無しでサービスが受けられ、地域で安心して継続できる努力をしている。

知的障害者・高齢者施設で福祉会として7施設あり今の段階では、積極的な考えはない。

問

森林整備と林産業の振興策は

答 町単独で森林作業路の補修を行なう



アカエゾマツの植栽地

町長 ここ数年木材価格の市場変更が無いが外国産材の流通で低い水準の取引。

町有林は、毎年20haを補助事業で下刈りなどを行なっている。

民有林は、二十一世紀北の森づくり推進事業、森林整備地域活動支援交付金と

町補助で森林の育成や個人負担軽減措置し、町単独事業で民有林の作業路の補修で林業振興維持に努めている。

針葉樹の病気について大きな発生はない。温暖化現象でクササネと言う害虫発生が見られたが冬に死滅する。

質問 木材価格の低迷と言うがその評価は。また、620haの町有林、維持管理方法は。  
民有林が5、416haあり、国・道から補助制度があると言うが制度の活用は。  
樹林の病气予防策と害虫発生への対応策は。

# 一般質問



岩崎 泰好 議員

- 1 エゾシカによる農業被害の実情と防止の対応・対策、捕獲個体の有効活用について
- 2 電力供給に安心を。自前の太陽光発電施設建設の可能性について

## 問

エゾシカ被害と駆除体制は

## 答

電気牧柵と捕獲駆除重要

**質問** エゾシカによる農業被害の実情と防止の対策対応、電柵による効果と銃による捕獲駆除体制の現状は。

さらに、ごみ処分場搬入による容量への影響、水質悪化の懸念、焼却施設等による対応、食肉加工施設の建設等について考えは。

**町長** 21年度エゾシカの被害は面積52ha、被害額は2,843万円。平成22・23年度2カ年で町内7宮農集団の地域に分けて全長185km電気牧柵を設置。被害額は十分の1以下200万円程に激減。電気牧柵による侵入防止と合わせて捕獲駆除も重要、ハンター



平成22年度233頭の実績  
今年の駆除数、前半はゼロ

## 問

自前の太陽光メガソーラ発電の

## 答

課題が多く適さない

可能性は

による捕獲数は平成22年度233頭の実績。ごみ処分場の影響は発生なし。焼却施設には課題があり、新たな産業

としての食肉加工施設は北海道内でも模索の段階。今の時点では非常に難しい。

**質問** 3月11日の東日本大震災、国民のエネルギーに対する考え方が大きく変わったひとつの転換点、再生可能なエネルギーとして太陽光発電がいま非常に脚光を浴びており、「美深町地域新エネルギービジョン」の報告にも積極的な導入が示されている太陽光発電システム事業の導入、自前のメガソーラー建設で地産地消の電力供給を目指しては

ネ意識を変えらう教育的見地から太陽光発電や小規模電力発電、バイオガス発電など導入の考え方は。

の問題など懸念され慎重に考える課題。地産地消の電力供給、太陽光メガソーラー建設は、広い土地、積雪の問題、寒冷地の着雪・着氷また落雪等の技術的なこと、多額の事業費など難しく適さないと考えらる。

**教育長** 美深町の地域新エネルギービジョンに教育的視点から一定の考え方が示されているが、それを踏まえて今後の学校施設整備等の中で十分検討する課題。

いかがか。子どもたちの取り組みが町全体の省エネ

**町長** 電力供給に安心な自前の太陽光発電システムの建設の可能性について、基本的な考え方は岩崎議員と一致。原子力発電に代わる新エネルギーの必要性が日本全体で議論されており、一定の理解はあるが、現実的には普及への課題、地域特有の積雪



稼働する稚内市のメガソーラ発電



藤原芳幸 議員

# 一般質問

- 1 道路交通網整備について
- 2 行政改革について



にぎわい取り戻したい大通

問

大通的活性化は

答

要望は届けていきたい

質問 美深道路の開

通が見えてきて、通行量の減少が予想される大通に、交通規制の変更や利用しやすい道路となるよう要望をすべきではないか。

町長 大通は国が管理する道路ではある

が要望を出せないこととはない。予測の段

問

つなげたい 高速道路

答

関係市町村と連携

質問 道央道土別以北の工事が進んでいないようだが美深町の取り組みは。

町長 道路はつながってこそ効果を発揮するという観点に基づき、関係町村と連携して期成会を通して要請活動を実施している。

階で提起というのは難しい。所管の問題もあり難しい課題はあるが、住民の声は届けていきたい。

問

どう実現する まちづくり

答

町民参加の体制づくり

質問 これまで進めてきたまちづくりの成果は。

第5次総合計画の住民主体のまちづくりを進めるために新たな施策が必要では。

町長 住民のニーズにこたえるために住民と行政が一緒になって考え行動することが今一番求められる。町の情報はあらゆる手段を使って反映できるように努力して

おり、町に対する意見も増えてきている。大事なものは住民との情報の共有で、地域担当員制度も強化し、行政と住民が共通の認識に立ってまちづくりを進めていきたい。今後は自治会の取り組み、地域計画が大事になり、自治会等に積極的に参加をしていきたい。住民からは、提案型意見を聞かせていただきたい。

問

継続なるか  
デマンドバス

答

継続できる  
ように対応

質問 試験運行中の仁宇布線のデマンドバスの現状と今後の見通しは。

町長 住民には好評だ。

デマンドの利点を生かし試験運行後も継続して運行できるように関係機関と対応を検討していきたい。

# 決算特別委員会



今年度は、第3回定例会の会期中に決算審査特別委員会（藤守千代子委員長）が開催された。

審査にあたっては、主要施策評価調書を用い「第4次総合計画のまちづくりの基本目標」に基づき決算審査が行なわれ、全員一致で認定すべきものと決した。

## 決算審査特別委員会

### どう使われたか町のサイフ

#### 内部評価を基に審査

いたわりの心に満ちた温かいまち

**質問** 2次医療圏における中核病院と、厚生病院の在り方は。

**住民生活課長** 救急時に中核病院に搬送され、急性期の治療が終わり慢性期の治療が必要なときは、医師との連絡調整の中で本人の了解を得て、地元の病院で治療を継続される。

**質問** 特定検診等の個人データは、どのような管理になっているか。

**保健福祉G主幹** 個人データの管理は、パソコンで管理している。

**質問** 予防医療対策はどのようなになっているか。

**住民生活課長** 予防医療に関しては、今以上に住民との関係性を深め進めて行きたい。

**質問** 救急に対する住民の意識の高揚を

どのように行なっているか。

**保健福祉G主幹** 民生委員協議会の研修として、心臓マッサー・AED等の講習会を行なっている。

**質問** 介護の方向性について今後在宅サービスを進めていくために、昔でいう応診体制が出来る1次医療を進めていく考えは。

**住民生活課長** 介護の流れは施設から在宅へと進めているが、現状少子高齢化の進むなか施設思考が多い。

在宅介護を進めるために、応診体制を望んでいるが、現状

の医師体制では不可能。

**質問** 幼児センター運営事業の経済性がD評価(低い)になっているのはなぜか。

**幼児センター長** 子育て支援の事業は、経済性を問うものではないのでD評価とした。

地域の特性を活かした  
活力ある元気なまち

**質問** 農業経営の確立の中で、課題等でC評価(やや多い)とし、今後の方向性が拡大とあるが、その考え方は。

**農業G主幹** 新規就農者支援事業・農畜産物販路拡大PR事業・地域担い手育成総合支援協議会事業の課題がC評価としたが、第5次総合計画・農業振興計画が本年からスタートし

た。さらに本町農業の担い手育成・確保を進めていくことが拡大の意図である。

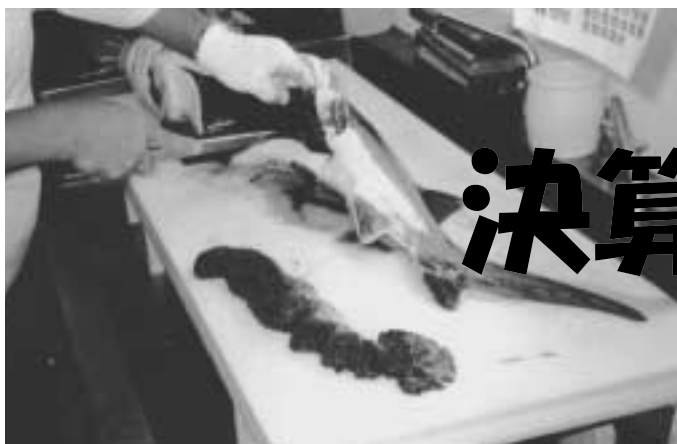
**質問** 商工会事業補助等の課題がD評価(多い)とあるが、具体的課題は。

**商工観光G主幹** 課題として考えているのは商工業者の経営がなかなか改善されない、更には後継者問題等々がある。



AED講習会





# 決算特別委員会

**質問** 美深アイランドの改修により、入り込み客がどのように影響されたか。

**商工観光G主幹** 22年度、「コテージやチョウザメの飼育施設の改修が、急な顧客増につながっていない。努力で増客につなげたい。

**質問** 林業振興の中で、町有林保育事業の課題等がC評価（やや多い）とされているが今後の体制は。

**施設G主幹** 町有林の中で伐採期が来ている物もあり、樹高・価格・搬出等を見極めながら販売していく。

**質問** 市街地整備推進事業評価がすべてC評価（遅れ気味）とあるがなぜか。

**商工観光G主幹** この事業は、中心市街地活性化基本計画を作り上げて進めていく施策であったが実施が出来なかったためC評価とした。

**質問** 雇用労働対策事業として、当町の指定管理者に新卒や若者を採用できないか。

**商工観光G主幹** その様になっていただ

ければありがたい。条件の中にどのように入れていくかが課題。

**質問** この町の地域経済の中に地域通貨を導入する考えはな

**商工観光G主幹** プレラム商品券が3回ほど発行され、効果があった。

予算上プレミアムを何回も続けるわけにはいかないの、新たな地域通過を導入していくのも一つ

自然と都市機能が共生した  
美しいまち

**質問** 下水道受益者負担金の未納状況は。

**管理G主幹** 現在町内5名、町外は4名

いる。町内の方には訪問

等をして納付相談をしている。町外の方には督促状を郵送している。

**質問** ゴミ焼却炉の処分をどのように考

えているのか。

**住民生活課長**

平成23年度の委託事業の中で解体の方

**質問** 地域自主防災計画に

ついて、全町に光ファイバー網を設置した

事での見直しを今後考えていないのか。

**総務課長** 今回の台風の情報、情報端末により災害の伝達を行なった。

**質問** 天塩川の氾濫を想定し、今後ハザードマップを見直していく考えはないか。

**総務課長** 防災計画見直し終了後に、ハザードマップの見直しも考えている。



解体を待つ焼却炉

**質問** 公衆浴場の今後の在り方は。

**住民生活課長** 公衆浴場の経営は、大規模な改修がないうちは続けたい。

**質問** 浄水場からのオーバーフローの水の利用は考えているのか。

**産業施設課長** 水の利用は、一部菊丘公園の滝のせせらぎとして利用しているが、水量としてはあまり多くない。

# 決算特別委員会



バリアフリーを望む

いるが、10月から3月までは可猟期間であり、鹿の駆除頭数に期待している。

**質問** 美深駅のバリアフリー対策の考えは。

**町長** 毎

年JRに要望をしており、本年跨線橋の塗装が実現。今後とも要望を続けたい。

**質問** 街路灯の更なる省エネ化は考えているのか。

**生活環境G主幹** 平成21年度から防犯灯・交通安全灯が省エネタイプの物に変わり、残りの240本は検討している。

**生活環境G主幹** エゾ鹿の捕獲の数は電牧等の設置で少なくなっていると思う。

**住民生活課長** 鹿の駆除については、猟友会が窓口となって

個性があふれる

人と文化を育てるまち

**質問** COM1000の運営について、今後ボランティアシステムを導入した管理運営が出来ないか。

**教育次長** 平成11年度から年間管理運営を行なっているが、平成22年度ベースで当初より25%減少。管理についてはシステム導入の運営は難しい。

**質問** 山村留学を指導する教職員が、山村留学の目的に合った対応が出来ているか。

**教育長** 自然の中で教育をさせる事が大きな目的にあり、教員の得意・不得意はあるが仁宇布の自然にあった教育がされている。

**質問** 今後仁宇布の山村留学が、どのような形で進んで行くのか。

**教育長** 20年が経過したが、今後とも親子留学・ホスターホームは継続していきたい。

基本的に地元の子どもたちがいる間は続けていきたい。

**質問** 他のスポーツに比べてエアリアル推進事業のウエート



いかだ下りを楽しむ山村留学生

が高く、不自然と思うが、スポーツ全体の充実についてどのように考えているか。

**教育G主幹** エアリアルについては、スキー場に公認コースを作り指導者を招きながら夏冬通じた活動を行なっており、今後とも事業を推進していく。他のスポーツの充実は、体育協会を通じ、補助金を出し振興を図っている。

**質問** 文化ホール自主事業の選定基準はどのようになっているか。

**教育次長** 実行委員会が年間予算の中で本数を決めて進めている。

各イベント事にアンケートを採り、町民に対して普段触れる事の出来ない優れた文化芸術を選定している。

## 次年度に活かす 活発な質疑と討論



わいわいひろば

**教育長** 下宿の問題は、将来に向かって何らかの事を協議し

**質問** 高校の存続・生徒確保の視点で、わが町の中に下宿がない事に対して今後の対応は。

**教育次長** 資格検定等の成果が上がっており、その結果早い段階で就職・進学が決まっている。

**質問** 美深高校の教育振興事業補助金の成果は。

**教育長** 美深高校は普通高校のキャンパス校として残っている意義を考えると、学力に力を入れていきたい。

**質問** 美深高校の現状は、本年40名の定数に対して26名。キャンパス校、高校の存続をどのように考えているか。

### 対話と協調による開かれたまち

**質問** 出前講座の在

**総務G主幹** 昨年から見ると減少はしているが、平成21年が40万件を超え、非常に大きな伸び。  
**総務課**で一括管理し、各課にPC推進委員を置いて管理している。

**質問** ホームページアクセス件数が21年より減った原因とホームページの管理・運営はどの様になっているか。

**企画G主幹** 役員の高齢化が課題とされている。世代交代が

**質問** 自治会活動の活性化の取り組みはどのようになっているか。

**企画G主幹** この講座は職員が行うので経費はかからない。30項目の講座をもつて地域に情報を提供している。今後も続けてたい。

り方と課題は。

**教育G主幹** 旧北児童館の時よりも1カ月平均100名以上増加し、子どもが安心して遊べる居場所になっている。

**質問** 北児童館改修後の利用状況は。

今後必要と思う。

**質問** 国際交流・友好都市交流事業の今後の在り方考え方は。

**副町長** 当初は国際化の流れの中で進んできた。現在のメリット、デメリットだけで解決しないが、今後議論が必要と思う。

**質問** 移住対策推進事業の移住者数の目標は。

**企画G主幹** 都会で一定程度役割を終えた方を対象とし、2名程度にした。

**質問** 庁舎内の電気料金・電話料金の額

はいくらになっているか。また縮減対策は。

**管財係長** 電気代は287万6千583円、電話代は125万5千909円。

**総務G主幹** 電気料金縮減の取り組みはできる事は実施している。

**質問** 納税貯蓄組合が本年度でなくなるが、今後の納税意識の向上をどのように図っていくか。

**税務G主幹** 口座振替の推進及び広報等での周知図っていく。

### 財産に関する調書

**質問** 備荒資金の用途はどの様になっているか。また、配分金はどの様な時に来るのか。

**総務課長** 災害対応の基金であって、激甚災害の指定がなくても対象となる。配分金は普通納付、超過納付の利率により配分される。

# 総務住民常任委員会

## 委員会活動

委員長 南 和博  
 副委員長 岩崎 泰好  
 委員 藤守千代子  
 委員 林 寿一  
 委員 藤原 芳幸

8月2日

### ① 自治会活動の現状

●各自治会は、少子高齢化に伴い活動の停滞化と役職のなり手不足やイベント参加者の固定化が見られる。

●対策として、若年

者及び転勤者世帯の加入率向上を図ることが急務。

●高齢化が進む中、独居老人世帯の実態把握が急務であり、各関係機関との連携で事故等に備えること。

●自主防災組織は恒常的な防災への意識づけが必要であり、今年設置された防災電話の活用が急が



住民とのコンセンサス

### ② 福祉対策について

●国保税の未収額が増加傾向にあり、運営に支障をきたすため、徴収率向上の改善策を早急に検討が必要。

●介護保険事業は、要支援者が年々増加傾向にあり、在宅介護サービスにおける訪問診療の充実、保健師の増員、ヘルパーの人材確保等が急がれる。

●老人福祉施設の建設では、第二コミセン、公衆浴場機能、高齢者用憩いの場の建設に当たり情報提供をし町民・地域住民・高齢者とのコンセンサスを十分取り進めること。

る。



服部 修さん

## 本町の取り組みに熱い視線



田中孝幸さん

7月28日美深町にて上川北部6町村議会(美深、和寒、剣淵、幌加内、下川、音威子府)研修会が開催された。

講師として恩根内のR&R、新規就農支援組織の活動を続けている服部修さんと仁宇布でチーズ工房を立ち上げた田中孝幸さんが講演に立ち、これまでの取り組みにつ

いて紹介した。

各町村とも人口増につながる地域お越しを模索している中であり、本町の取り組みに熱い視線が注がれた。

改選後初の研修会ということもあり、交流会ではお互いの情報交換と親睦を深め、今後の議会での健闘を誓い合った。

# 産業教育 常任委員会

## 委員会活動

委員長 諸岡 勇  
副委員長 小口 英治  
委員 齊藤 和信  
委員 中野 勇治  
委員 山本 進

8月10日

### ① 快適住まいづくり事業と危険家屋の現状

● 予算額2060万円、事業費1億6100万円で従前の店舗近代化補助に加え住宅リフォームの費用一部補助で地域経済の活性化に結ぶ。



改修待たれる 美深中学校

● 危険家屋は、目視判定に基準が必要、22年度58軒うち7軒の解体は個人住宅のみで店舗が対象外、検討が必要、早期解体が望まれる。

### ② 農業経営基本強化促進基本構想の見直し

● 道の基本方針を受

けてJAと農業改良普及センターから意見をもらい9月末を目標に協議され、10月末にも見直される。

### ③ 学校教育施設の現状

● 改修事業計画は委託で検討段階、耐震2次診断が実施され、学校給食は学校関係者、教職員、保護者、町民のアンケート調査を実施し町民と意見を聴く場を設定したい。

● 仁宇布小中学校の耐震は、山村留学を継続するかの議論と併せ検討委員会など設けて協議が必要である。



### 気になる作況は

9月9日

春先の天候不順により作業は大幅に遅れ、出来秋を心配していたが、7月上旬の高温で生育は回復した。しかし7月中旬の長雨、8月下旬の干ばつによる影響で生育は停滞傾向にあり農作物は総じて遅れの状況にある。

農作物全般に渡って、遅れ気味だが登熟は順調に進んでいる事に安堵を感じた。

### 当別町議会が視察



9月28日

石狩管内当別町議会から議員9名、事務局2名が本町議会を視察に訪れた。

本町からは議長、副議長、議会運営委員会委員、事務局が出迎えた。

視察内容は、15項目にわたり、本町の議会運営や議会改革の取り組みについて意見交換した。

第2師団隊員による  
支援活動  
(陸上自衛隊提供)



## 自衛隊第2師団の支援活動に敬意 東日本大震災の支援活動に感謝する決議

3月11日突然発生した東日本大震災で、壊滅的な打撃を受け犠牲者約1万5,000名、行方不明者約5,000名という甚大な被害を受けました。

当上川地域においても消防、警察、自治体職員、ボランティアの方々がいち早く被災地に赴き支援活動に尽力され、地域住民も義援金や救援物資の提供など支援活動の努力に敬意と感謝の意を表すものです。

特に当管内旭川市、名寄市、上富良野町

に駐屯する陸上自衛隊第2師団においては、震災発生の日から7月19日までの130日間にわたり延べ23万人の隊員が岩手・宮城県の被災地に派遣され、極めて危険な状況の中で長期間、不自由なテント生活での救援活動に献身的な活躍をされました。

人員捜索では、ご遺体の収容300体、給水量約2,100 t、給食数54万5,000食、入浴者数6万5,000人、医療支援約1,500人、がれきの除去約6万5,000 m<sup>3</sup>と多大な支援活動の成果を収められました。

第2師団と当地域は師団創設以来60年の長きにわたり地域の振興に強い信頼関係と固いきずなで結ばれてきた歴史があり、支援活動の使命遂行に美深町議会として感謝の意を表明し決議とします。

平成24年度農業予算編成ならびに税制改正に関する意見書

3月11日発生した東日本大震災と福島第1原発の事故は日本人に精神的苦痛と甚大な被害を与えた。当面する緊急かつ

### 地域の声を国政に 意見書を提出

最優先の課題は、原発事故の収拾と損害賠償を含む被災地復興です。国は高いレベルでの経済連携を変えていない。被災地の復旧復興支援と我が国の食糧安定供給への使命感にたち北海道が持つ

潜在能力を発揮し持続可能な農業の確立を図る。  
①日本経済・社会の再建と国内農業対策  
②包括的経済連携等貿易交渉対策  
③政策の安定的継続と財源確保  
④生産基盤対策  
⑤税制改正要望対策

森林林業木材産業施策の積極的な展開に関する意見書

森林整備を推進し多面的機能を持続的に発揮し、林業の安定的発展と山林の活性化を図る森林林業の再生の実現を要望する。  
①東日本大震災で被災した森林や木材加工施設等の早期復旧に加え復興木材の供給に向けた被災地域林業再生を加速化すること。

②地球温暖化対策に税の使途、森林吸収源対策や木材利用促進と森林整備推進等に財源措置の確保で森林経営対策を推進すること。  
③森林管理、環境保全、直接支払制度による搬出間伐の推進、路網整備など経営基盤の整備と担い手育成対策の強化、森林施業の集約化や機械化の推進、森林整備費の経営助成の導入など効率的施行と所有者の負担軽減を推進すること。

④低炭素社会に地域材の利用推進し新たなエネルギー政策の転換の検討で、木質バイオマスエネルギーを活用するなど国産材の利用拡大を推進すること。  
⑤森林整備加速化、林業再生事業の拡充・延長により、森林林業の再生に向けた取組を推進すること。  
⑥国有林は一般会計により広益的機能の一層の発揮を図り、森林・林業政策の推進に国による一体的な管理運営体制を確立すること。

# ★ ★ ★ ★ ★ 私からのメッセージ ★ ★ ★ ★ ★



## 美深の教育に思う

斉藤哲子さん

(第5町内会)

議会の皆様には、いつも美深の教育のためにご理解と協力をいただき、深くお礼申しあげます。

私たち町民は議会をあまり観たり聴いたりする機会が無く、様子がわからないというところが正直な

ところです。しかし、ここ美深町は教育にお金をかけてくださっていると感じています。何と言っても建つて間もない立派な校舎があること、子どもたちは幸せです。良い環境の中で気持ちよく学習をしています。また、今年度から教員の資質向上のための研究推進事業交付金を出して

いただいています。子どもたちの教育活動を実際に行う教員たちは、教育公務員として常に研修を積むことが求められています。このおかげで教師たちは一層研鑽を積み、教師力を挙げていくことができます。公開研究会などで、皆様に美深の教育の成果を観ていただく機会もこれから持つ

ていきたいと校長会で考えているところです。学校は、次代を担う子どもたちにふるさと美深を愛し、たくましく生きる力を育てて参ります。少子化に歯止めがかからない今こそ、将来の美深のために議会の皆様には益々のご支援をお願いいたします。



## 函岳登山に

参加して

松久史朗さん

(第1町内会)

日本晴れの9月24日、観光協会主催の函岳登山会に参加、4台のバスに分乗して120名が和気あ

いあい遠足気分。参加者のほとんどが中高年、元氣そのものである。見る限り大半は町外からと

見た。30kmの行程のうち、斑溪中ノ沢林道から案内人の説明を受けながらパンケ川に沿って3kmを散策、雨後の緑は色を増し奥入瀬の渓流に似た流れは、あまり知られていないが、観光資源としては十分であった。熊出没の看板はいただけなが、雲函岳の頂上は、雲ひとつなく日本海、

オホーツク海が一望。頭を隠した利尻富士も望むことができた。オフロードバイク以外今のところ他に連携した観光資源となっていない函岳について、清流と眺望そして春の根曲がり竹採取など大いにPRしてほしいものだ。ただ事故ない対策をぜひ立ててほしい。「朝に仰ぐ函岳や：

」町歌に唄われた函岳。校歌を調べてみると美深小、美深高、美深高等養護、旧美深小、第二小、厚生小、楠小、公德小、清水小、恩根内中とその姿を讃え、明日への希望へとつなげている。美中音頭でも「はるか函岳残雪こえて・・・」と出てくる函岳。母なる山として、見上げていきたい。

# 皆さんのご意見をお聞かせ下さい！

## 議会懇談会を開催します。

### ぜひ、ご参加ください。

美深町議会は、今年4月の町議会議員選挙から議員定数が13人から2人減少して11人になりました。

5月の初議会で正副議長をはじめとした議会構成が決定し、第2回(6月)、第3回(9月)の定例会と平成22年度各会計決算審査を終え、12月には年内最後となる第4回定例会を迎えるところです。

今般、美深町議会はこれまでの議会報告と「安全・安心なまちづくり」をテーマと

して町民各位と懇談し、今後の議会活動に反映させたいと考えております。

みなさまお誘いあわせてお越しくくださいますよう、ご案内申し上げます。

#### —— 主な話題 ——

防災電話

医療の充実

コミュニティバス

福祉施設

#### ●開催日

11月8日(火)

#### ●会場

町内3か所

#### ●時間

午後 1:30

#### ●会場

恩根内  
センター  
プラザ

#### ●時間

午後 1:30

#### ●会場

仁宇布  
多目的  
ホール

#### ●時間

午後 6:30

#### ●会場

COM100  
大会議室

懇談会に関するお問合せ先：美深町議会事務局（防災端末 2-1651）

8月17日に札幌市に於いて議会広報誌の研修会が開かれ、町議会から広報委員6名、事務局1名が参加しました。研修では住民目線でわかりやすく、住民の声を反映した議会広報となるよう様々な技術的アドバイスを受けました。これらの研修の成果を生かし、よりわかりやすい議会広報となるよう委員一丸となって編集に取り組みでいきます。

住民と相互通行の  
議会広報へ札幌で研修